

令和6年度使用小学校教科用図書  
第2回大村市教科用図書採択協議会 議事概要

期 日：令和5年7月10日（月）

場 所：大村市中央公民館（コミュニティセンター）第3会議室

出席者：会長、採択委員A～F

国語・書写選定委員長

理科選定委員長

社会・地図選定委員長

事務局職員

議 事：「国語」「書写」「理科」「社会」「地図」の教科書採択

開会あいさつ

会 長 （略）

協 議

司 会：会 長

・まず、事務局より説明を。

事務局

○これから3回にわたり協議する教科の確認

○資料確認（教科書見本、調査研究報告、選定報告書、アンケート結果）

○「調査研究報告」とは、各小学校の主幹教諭や教諭から成る調査員が、県教育委員会作成の資料を基にして、教科書を調査研究し、全教科書の特長をまとめたものである。

○「選定委員会報告書」とは、小学校の管理職等から成る選定委員会が「調査研究報告」を基にして、各教科書の特長についてさらに研究を深めるとともに、第1回の会議で確認をしたとおり、複数の教科書があるものについては候補順を付けた報告書である。資料は、右上が観点ごとにその顕著なものについて印を付けたもの、左がそのよさを挙げたもの、右下は、順位付けの理由が書いてある。本協議会における中心資料となる。

○「アンケート結果」は、市内小学校の先生や保護者、そして市民の方々からいただいたご意見をまとめたものである。これまでに、市内15の小学校で教科書の巡回展示を行った。期間は、1校あたり約2週間である。さらに、6月27日から7月9日まで、ミライオン図書館や少年センターでも一般の市民の方向けに教科書展示を行い、幅広くご意見をいただいた。

○以上4つの資料をもとに、採択を進めていただく。

## 「国語」教科書についての協議及び採択

- 【報告】**
- 選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。
- 【質疑応答】**
- 会 長 ・ C者に長崎県の平和教材、題材は掲載されているか。
- 選定委員長 ・ 巻末にある学年と、内容の中に組み込まれている学年がある。それはA者も同じである。
- 【協議】**
- 委員A ・ 1年生を見比べたとき、A者はすぐ文字があるが、C者は文字がなく絵があり、C者の方が全体的に配慮を要する児童にやさしい感じがする。
- 委員C ・ A者とC者に同じ題材があるが、C者の方が今後取り組みやすく、見やすい構成になっているように感じる。
- 委員F ・ A者にもC者にも学習の流れや進め方が書いてある。指導者の立場では、その点ではどちらも変わらない。  
・ C者は単元の最後に、本の世界を広げようということで、物語・科学・その他に詩や言葉、図書を紹介するページがあり、子供たちが言葉に触れる機会を増やすという意味では充実してると感じた。
- 委員D ・ 振り返りのQRコードはいいなと思った。
- 委員B ・ アンケートでは、A者に肯定的な意見が多い。子供たちにとって、見やすい、自分で学びやすい、学力が引き出されるといった必要性はあるが、教科書を実際に使用する教員の意見も大切だと思う。
- 会 長 アンケート結果のA者のコメント欄から、教師は慣れ親しんだものをは使いたいという思いが感じられる。A者とC者で何か特徴的なものがあったか。
- 【質疑応答】**
- 会 長 ・ アンケート結果から、教職員はA者に肯定的な意見が多い。どのようにお考えか。
- 選定委員長 ・ A者、B者それぞれに長所があり、写真やイラストの魅力についてはA者、説明文を二段階で学ばせる等、学び方や基礎・基本を定着させるという視点ではC者。  
・ 選定委員としては、甲乙つけがたいという思いである。教員の使いやすさからするとA者という見方もある。

- 委員B ・ 報告書における、A者・C者の◎と○の微妙な違いは。
- 選定委員長 ・ 学び方や基礎・基本をしっかりと身に付けさせるという、説明文二段階の工夫が特長である。また、A者もB者も、文中の印象的な一文を抜いたような形がリード文となっているが、C者は、子供たちに「こういったことを学んでいく」、「考えていく」ということを示すようなところまで踏み込んでいる。学び方と考えたときにC者。
- 会 長 ・ 報告書では、写真や挿し絵、図表レイアウトや色彩文字といった視覚に訴えるところは、A者が優位である。
- 選定委員長 ・ 学力向上という視点に立ったときに、学び方を身に付けさせる、基礎・基本の定着。そこを大事と捉えればC者。
- 委員F ・ C者の「練習」は特徴的である。子供たちに1回ステップを踏ませるのは、説明後の取り扱いとしては非常によい。B者にはないのか。
- 選定委員長 ・ B者もある。
- 委員A ・ 国語の説明文を研究している教員には、低学年の説明文を使って指導してから教科書の説明文の内容をさせる人もいる。今の段階では、よく研究している教員が先進的に行っていることなので、C者のように、すべての教員が練習というステップを踏めるのは、学級間の差がなくてよい。  
・ 一方で、これまで慣れ親しんだ教科書で、継続して学びを推進したいという思いも分かる。
- 【協 議】
- 会 長 ・ これまで慣れ親しんだA者よりも、やはり子供たち主体で考えた場合はC者を今回、選択して、学力を向上させたいという意見が強かった。これについて異議はないか。
- 委員一同 ・ 異議なし。
- 委員 ・ 国語は、C者としてよろしいか。
- 委員一同 ・ 異議なし。
- 会 長 ・ 国語については「C者」とする。

## 「書写」教科書についての協議及び採択

### 【報 告】

選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

### 【質疑応答】

会 長 ・ 国語の教科書と書写の教科書は連動しなくていいのか。別会社でもいいのか。

選定委員長 ・ 今まで国語と書写の会社が別という経験はない。しかし、国語の授業と書写の授業の内容が連動することはないので、別会社でも授業に影響はないと考える。

会 長 ・ 国語との関連という視点で考えたのではないのか。

選定委員長 ・ 書写については、A者とC者に絞り、さらにその中で、スタートブックや入門期における丁寧な内容、6年生の資料の充実等の視点から、絞り込んだ上でC者が優れているとなった。

### 【協 議】

委員E ・ 教科書には発行者が入っている。国語と書写が違う発行者となった場合に大丈夫なのかと感じた。

・ C者が高評価なので、C者がいいのではないか。

委員F ・ C者について、表紙が似ているのでどれが何年生か迷った。兄弟がいると間違えるのではないか。

委員B ・ C者について「広げる」という観点から、自分が欲しくなる教科書だと思った。

会 長 ・ 書写については、C者に決定してよろしいか。

委員一同 ・ 異議なし。

会 長 ・ 書写については、「C者」とする。

## 「理科」教科書についての協議及び採択

### 【報告】

選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

### 【質疑応答】

会 長 ・ B者は、長崎市の題材は多いが、大村市の題材はないようだが。

選定委員長 ・ A者とB者を比べると、B者は圧倒的に長崎県の資料の取り扱いの数が多い。  
・ 唯一A者の方のよいところは、QRコードの読み込みである。読み込むとダイレクトにその画面が出てくる。B者は、読み込むと下の方へスクロールしないといけないので、少し手間がかかる。

委員E ・ すべての漢字に振り仮名が付いているのが、A者の特長だと思うが。

選定委員長 ・ A者は、導入とまとめの部分には、すべての漢字に振り仮名を付けてある。導入の部分は「みんなにしっかり掴ませてあげよう」という配慮、まとめは「『ここが分かったね』というところを押さえてい」という願いではないかと思われる。  
・ B者は、その学年で習った漢字には振り仮名を付けている。習っている漢字に振り仮名を付けないことは理解できるが、そういう点ではA者がよい。

会 長 ・ 圧倒的にB者が優位のようなのだが。

選定委員長 ・ 結果的に優れた部分が多かったということ。

### 【協議】

会 長 ・ 選定委員会の委員の方向性でよろしいか。

委員一同 ・ 異議なし。

会 長 ・ 「理科」についてはB者とする。

## 「社会」教科書についての協議及び採択

### 【報告】

選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

### 【質疑応答】

会 長 ・ 大村市にちなんだ人物については載っていないのか。

選定委員長 ・ 3者の教科書の中には載っていなかった。

事務局 ・ 大村市では「わたしたちの大村市」という副読本を作成している。その中に郷土の偉人についてのページがあり、どの学年でも学習できるようになっている。

会 長 ・ A者は6年生政治・国際編と歴史編に分かれている。持ち運びが便利。

### 【協議】

会 長 ・ 選定委員会の委員の方向性でよろしいか。

委員一同 ・ 異議なし。

会 長 ・ 社会は「A者」とする。

。

## 「地図」教科書についての協議及び採択

### 【報告】

選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

### 【質疑応答】

会 長 ・ A者「九州地方について (P22)」とB者「九州地方に広く見渡す地図 (P22)」を見ると、B者の方は大村が載っていない。縮尺によって大村が入ったり入らなかったりするものか。

選定委員長 ・ 小学生が地図の学習をするときに、どうしても情報量が多いとそこから子供たちがなかなか見付けることができない、または気付くことができないというような部分もあるため、大村市の名前が消えてしまっているということではないかと思う。

委員F ・ 社会と地図の教科書発行者が違ってよいのか。現在のところ、社会は別の発行者となっている。

会 長 ・ 現在使用している教科書も社会と地図では発行者が違う。選定委員会としても社会と地図は異なる発行者のものを上げてきている。

### 【協議】

会 長 ・ 選定委員会の委員の方向性でよろしいか。

委員一同 ・ 異議なし。

会 長 ・ 地図は「B者」とする。

## 協議結果の確認

- 会 長 ・事務局から本日の協議結果について確認をお願いしたい。
- 事務局 ・本日の協議の結果、国語はC者、書写はC者、理科はB者、社会はA者、地図はB者を採択候補と確認した。
- 会 長 ・以上で、本日の協議を終了する。